

各調査（案）に対する修正等の意見について

	ご意見	回答・対応等																																							
1	各設問の必、才、独の説明を明記されたほうがよろしいのではと考えます。	市民の方に郵送する調査票には、これらのマークを除いたものを送付します。																																							
2	調査を行う以上、事業計画策定に有効となる回収率を得るために、1, 2 総じて設問数を減らす必要があるのではと考えます。 ※調査対象者が 65 歳以上かつ要支援者等であることを念頭にされた設問数、内容に期待します。	ご指摘のとおり、設問数が多くなれば回答率に影響が出る懸念があります。ただ、設問数が 3, 4 問増えても大きな減少は考えにくいこと、もともと本調査は回答率が高く、統計上必要な回答数は十分得られていること、たとえ回答率が 10 ポイント下がっても、標本誤差はそれほど大きく変わらない（±1～2%程度）ことなどから、独自設問を設けるメリットのほうが大きいと考えます。 ※参考 <table border="1" data-bbox="842 884 1471 1288"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ニーズ調査</th> <th colspan="2">在宅介護実態調査</th> </tr> <tr> <th>8期</th> <th>9期</th> <th>8期</th> <th>9期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配付</td> <td>2,000</td> <td>2,400</td> <td>500</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>回答数</td> <td>1,501</td> <td></td> <td>357</td> <td></td> </tr> <tr> <td>回答率</td> <td>75.1%</td> <td></td> <td>71.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>必</td> <td>35 問</td> <td>35 問</td> <td>10 問</td> <td>10 問</td> </tr> <tr> <td>才</td> <td>29 問</td> <td>29 問</td> <td>10 問</td> <td>10 問</td> </tr> <tr> <td>独</td> <td>11 問</td> <td>14 問</td> <td>1 問</td> <td>5 問</td> </tr> </tbody> </table>		ニーズ調査		在宅介護実態調査		8期	9期	8期	9期	配付	2,000	2,400	500	600	回答数	1,501		357		回答率	75.1%		71.4%		必	35 問	35 問	10 問	10 問	才	29 問	29 問	10 問	10 問	独	11 問	14 問	1 問	5 問
	ニーズ調査			在宅介護実態調査																																					
	8期	9期	8期	9期																																					
配付	2,000	2,400	500	600																																					
回答数	1,501		357																																						
回答率	75.1%		71.4%																																						
必	35 問	35 問	10 問	10 問																																					
才	29 問	29 問	10 問	10 問																																					
独	11 問	14 問	1 問	5 問																																					
3	資料 2-1 問 1 (2) ② 2, 3, 5 について、年齢を聞けるとよいと思う（ヤングケアラーの可能性もわかる）。	→修正なし ニーズ調査の対象者は、9割以上が介護を受けていない方のため、この調査でヤングケアラーを拾い出していくのは難しいこと、在宅介護実態調査において主な介護者の年齢を聞いていることなどから、在宅介護実態調査の方でヤングケアラーの存在を把握することとしました。																																							
4	資料 2-1 問 1 (4) 6 の借家に対し、「借間」はもうないのですね。	→修正なし この設問の選択肢は、借家と賃貸住宅の一戸建てとどう違うのかなど、厳密に分けるといろいろと疑義が出てきてしまうことから、国が示す選択肢のまま（回答者の判断）で回答いただくことにしたいと思います。																																							

	ご意見	回答・対応等
5	資料 2-1 問 2 (9) 7について、路線バスとつるバス・つるワゴンは分けたほうが良い。経済的なものがあるかも。	→修正なし 設問意図として、外出の際の移動手段の把握であるため、路線バスとつるバス・つるワゴンを同じ括りとしています。
6	資料 2-1 問 6 (1) ⑧地域での活動で「収入のある仕事」とはどのような活動が想定されるのかと考えた。シルバーとか、NPOとか、有償の活動とかですか？	→修正なし タイトルは「地域での活動について」となっていますが、設問意図としては外出・社会参加の意味合いが強いため、⑧ではシルバーやNPO以外にも、会社勤めや自営業などの方も想定しています。説明書きを入れてしまうと、それにより回答割合が変わるため、前回との比較分析や見える化システムへの登録等を踏まえると、基本的にはそのまま（回答者の解釈のとおりで）回答いただくこととしました。
7	資料 2-1 問 7 (5) 資料 2-2 問 24 選択肢 1, 2, 4, 5については、ダブル、トリプルで聞かずに別々に〇印をつけた方が参考になると思う。	→修正あり 1→1. 自治会・地域支え合い協議会 2. 老人クラブ 2→3. 社会福祉協議会 4. 民生委員 4は医療機関、5は行政機関としての括りでそのままとしました。 1についてはそれぞれ地縁による団体ですが、老人クラブは別個のものとして分けました。 2については、社会福祉協議会では様々な事業を行っており、また相談窓口として生活サポートセンターもあるため、民生委員とは別個のものとして分けることにしました。また、民生委員への相談がどの程度あるのか圏域ごとに把握することにより、今後の様々な事業等の参考にしていきたいと思います。